

# グローバル投資適格債券パッケージ (2018年12月償還)

## 愛称：てきかくパック

追加型投信／内外／債券

### 償還交付運用報告書

第6期 (償還日：2018年12月21日)

作成対象期間 (2018年10月16日～2018年12月21日)

第6期末 (2018年12月21日)	
償還価額	10,696円05銭
純資産総額	2,788百万円
第6期 (2018年10月16日～2018年12月21日)	
騰落率	△0.1%
分配金合計	－円

(注) 騰落率は収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

#### ■受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて「グローバル投資適格債券パッケージ(2018年12月償還)」は、2018年12月21日をもちまして満期償還を迎えました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げます。長い間ご愛顧いただき、厚く御礼申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記お問い合わせ先>ホームページの「トップページ」→「投資信託」→「運用報告書一覧」のページにおいて運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社  
東京都千代田区永田町 2-11-1 山王パークタワー

<お問い合わせ先>

電話番号：0120-442-785

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

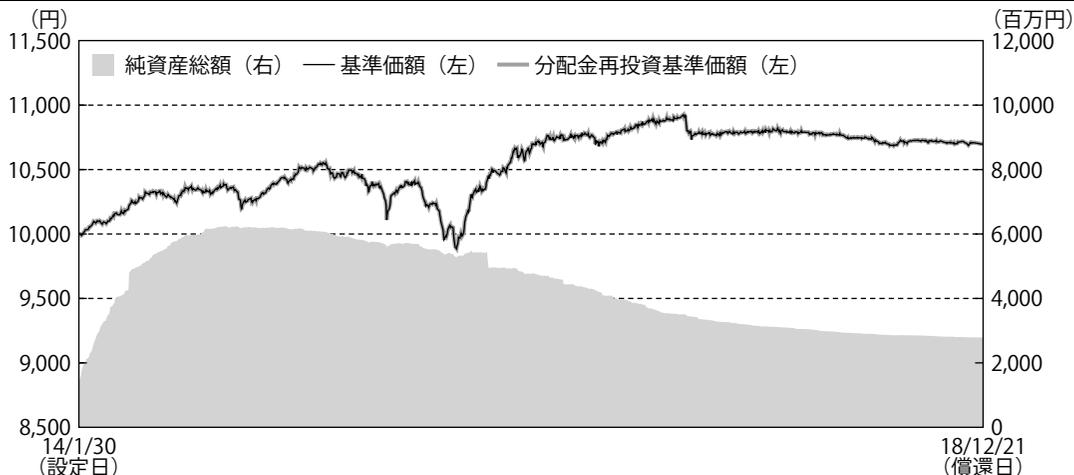
<https://funds.dws.com/jp/>

\*お取引内容等につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

## 運用経過

### ■設定以来の基準価額等の推移について

（2014年1月30日～2018年12月21日）



設定日：10,000円

償還日：10,696円05銭（既払分配金0円）

騰落率：7.0%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、設定以来の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

### ■基準価額の主な変動要因

当ファンドでは、世界の投資適格の普通社債及びハイブリッド証券（劣後債及び優先証券等）を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

設定来、保有債券の利金収入は基準価額の上昇要因となった一方で、日米の金融政策の方向性の違いから日米の短期金利差が拡大し、米ドルのヘッジコストが上昇したことは、基準価額の下落要因となりました。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期 2018年10月16日～2018年12月21日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	22円	0.208%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は10,704円です。
（投 信 会 社）	(11)	(0.099)	委託した資金の運用等の対価
（販 売 会 社）	(11)	(0.099)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受 託 会 社）	( 1)	(0.010)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.015	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	( 1)	(0.006)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用・印刷費用等）	( 1)	(0.009)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や運用報告書の作成に係る費用等
合 計	24	0.223	

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

■最近5年間の基準価額等の推移について

（2013年12月20日～2018年12月21日）



(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、設定以来の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2014年1月30日 (設定日)	2014年10月14日	2015年10月13日	2016年10月13日	2017年10月13日	2018年10月15日	2018年12月21日 (償還日)
基準価額 (円)	10,000	10,327	10,312	10,746	10,790	10,709	10,696.05
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0	—
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	3.3	△0.1	4.2	0.4	△0.8	△0.1
純資産総額 (百万円)	1,468	6,160	5,694	4,370	3,128	2,812	2,788

- 当ファンドは、主に世界の投資適格の普通社債及びハイブリッド証券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行うことを基本としております。そのため、ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在せず、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

**■投資環境について**

（2014年1月30日～2018年12月21日）

主要国の国債利回り（金利\*）は米国では短期中心に上昇（価格は下落）した一方、欧州（ドイツ）では幅広い年限で低下しました。米国では、リスク回避的な流れを受け長期金利は低下基調が続いていましたが、米連邦準備制度理事会（F R B）が2015年末以降利上げを継続したことや、米トランプ政権の政策期待等を受け、その後は上昇しました。欧州では、欧州中央銀行（E C B）が金融緩和を強化したことや緩和が長期化するとの見方、英国の欧州連合（E U）離脱問題等が金利の低下要因となりました。社債市場では、主要国の金利が低水準にとどまる中、利回りを求める需要が支えとなった一方、原油価格の下落や欧州政治リスク、米中貿易摩擦に対する警戒感等を受け、設定来では世界の投資適格社債の代表的な指数であるブルームバーグ・バークレイズ・グローバル総合（除く日本）・社債インデックスのスプレッド\*は小幅に拡大しました。

**■当該投資信託のポートフォリオについて**

（2014年1月30日～2018年12月21日）

当ファンドでは当初の運用方針通り、世界の投資適格の普通社債及びハイブリッド証券（劣後債及び優先証券等）を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

設定当初より米ドル、ユーロ建ての投資適格社債を中心とするポートフォリオを構築し、バイ・アンド・ホールド戦略を基本として運用を行いました。こうした結果、パフォーマンスは概ね安定して推移しました。

**■ベンチマークとの差異について**

（2014年1月30日～2018年12月21日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークや参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

**■分配金について**

該当事項はございません。

当ファンドをご愛顧いただきましたことをここに厚く御礼申し上げます。

\*金利：債券価格は金利変動の影響を受けます。一般的に金利が低下した場合には債券価格は上昇し、逆に金利が上昇した場合には債券価格は下落する傾向があります。

\*スプレッド：主に主要国債（先進国国債など）利回りとの利回り格差のことで、発行体の信用力や流動性等の影響を受けます。一般的に、信用力が高まればスプレッドは縮小（価格の上昇要因）し、信用力が低下すればスプレッドは拡大（価格の下落要因）する傾向があります。

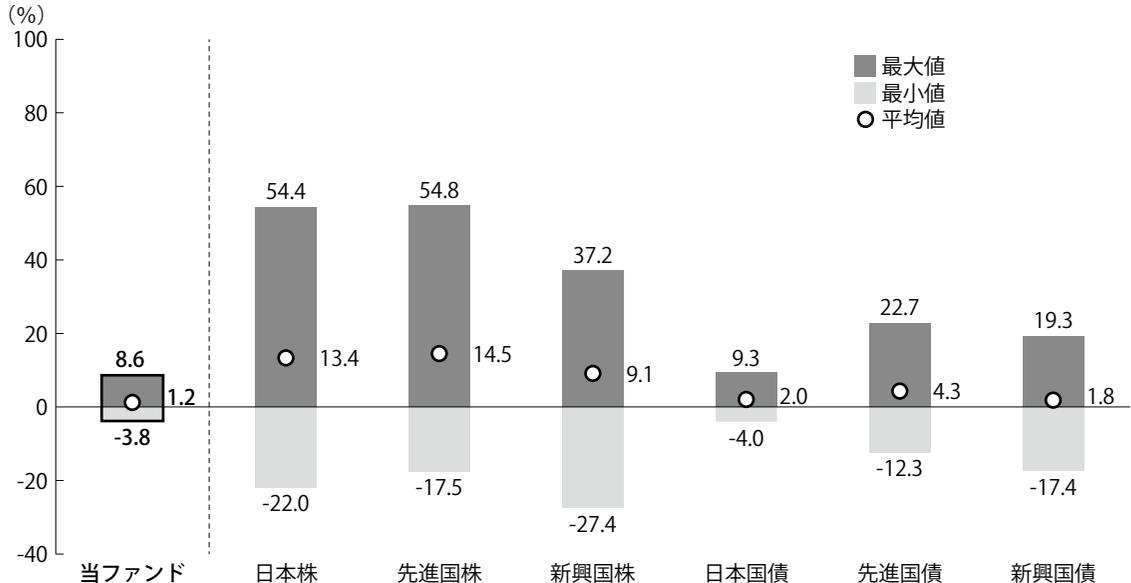
**お知らせ**

該当事項はございません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2014年1月30日から2018年12月21日まで
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要投資対象	世界の投資適格の普通社債及びハイブリッド証券（劣後債及び優先証券等）を主要投資対象とします。
運用方法	主に世界の投資適格の普通社債及びハイブリッド証券（劣後債及び優先証券等）への投資を通じて、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。主に信託期間終了日前に償還（早期償還を含みます。）を迎える債券等に投資します。外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行います。
分配方針	<p>毎決算時（原則として毎年10月13日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。）に、原則として以下の方針に基づき収益分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費等控除後の繰越分を含めた利子・配当収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準及び市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p> <p>③留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較 (2013年12月末～2018年11月末)



(当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率 (%) )

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	1.2	13.4	14.5	9.1	2.0	4.3	1.8
最大値	8.6	54.4	54.8	37.2	9.3	22.7	19.3
最小値	-3.8	-22.0	-17.5	-27.4	-4.0	-12.3	-17.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

\*2013年12月～2018年11月の5年間における年間騰落率の平均・最大・最小を、当該ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。ただし、当ファンドの設定日は2014年1月30日であるため、当ファンドの年間騰落率は2015年1月以降のものとなります。したがって、当ファンドと代表的な資産クラスとで比較対象期間が異なります。

### \*各資産クラスの指数

日本株：TOPIX (配当込み)

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

(注) 先進国株、新興国株、先進国債及び新興国債の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 各資産クラスの指数について

- T O P I X（東証株価指数）は、株式会社東京証券取引所（以下「東証」といいます。）の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用等株価指数に関するすべての権利は、東証が有しています。東証は、T O P I Xの算出もしくは公表の方法の変更、T O P I Xの算出もしくは公表の停止またはT O P I Xの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- M S C I コクサイ・インデックス及びM S C I エマージング・マーケット・インデックスは、M S C I インク（以下「M S C I」といいます。）が算出する指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はM S C Iに帰属します。また、M S C Iは同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- N O M U R A - B P Iは、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権その他一切の権利は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社はN O M U R A - B P Iを用いて行われるドイチェ・アセット・マネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切の責任を負いません。
- F T S E 世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
- J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイドは、JPMorgan Chase & Co.の子会社であるJ.P.Morgan Securities LLC（以下「J.P.Morgan」といいます。）が算出する債券インデックスであり、その著作権及び知的所有権は同社に帰属します。J.P.Morganは、J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが参照される可能性のある、または販売奨励の目的でJ P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが使用される可能性のあるいかなる商品についても、出資、保証、または奨励するものではありません。J.P.Morganは、証券投資全般もしくは本商品そのものへの投資の適否またはJ P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが債券市場一般のパフォーマンスに連動する能力に関して、何ら明示または黙示に、表明または保証するものではありません。

## ファンドデータ

### ■当ファンドの組入資産の内容

信託終了日における有価証券の組入れはございません。

### ■純資産等

項 目	償 還 日
	2018年12月21日
純 資 産 総 額	2,788,324,781円
受 益 権 総 口 数	2,606,873,827口
1 万 口 当 た り 償 還 価 額	10,696円05銭

当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は19,651,858円です。

## 投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2014年1月30日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2018年12月21日			
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	資産総額	2,794,265,539円
受益権口数	1,468,920,366口	2,606,873,827口	1,137,953,461口	負債総額	5,940,758円
				純資産総額	2,788,324,781円
元本額	1,468,920,366円	2,606,873,827円	1,137,953,461円	受益権口数	2,606,873,827口
				1万口当たり償還金	10,696.05円
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	5,965,012,719円	6,160,193,821円	10,327円	0円	0%
第2期	5,522,363,461	5,694,701,572	10,312	0	0
第3期	4,067,507,348	4,370,997,724	10,746	0	0
第4期	2,899,663,643	3,128,866,943	10,790	0	0
第5期	2,626,525,685	2,812,642,139	10,709	0	0



ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社  
東京都千代田区永田町 2-11-1 山王パークタワー

<お問い合わせ先>

電話番号：0120-442-785

受付時間：営業日の午前 9 時～午後 5 時

<https://funds.dws.com/jp/>

\*お取引内容等につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。